

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所として(放課後等デイサービス)		公表日		令和7年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	限られたスペースの中での工夫はできていると思う。 運動療育は、2軒目のホールを使う等して伸び伸びと活動できている。	適切ではあるが、クールダウンのスペースがあるとより良いと感じる。 個別に関わりたい時にスペースが足りない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	他事業所から職員がヘルプに回れる体制がある。	個別対応が必要な児童が多い日には、職員数が足りていないと感じることがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		職員間でアイデアを出し合っていて変えているが難しさがある。 スケジュール支援など、支援ツールの活用の仕方に課題がある。 バリアフリー化が足りない箇所がある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		おやつ後の後始末がきちんとできていないことがある。 建物の構造上、難しさがある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		業務内容については、自分が把握できていないことが多い。 打ち合わせをするが、具体的な方法の伝達は不十分である。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		保護者の意見を把握できる機会はあるが、改善にまで繋がっていない。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	全ての職員が意見を発言しやすい雰囲気作りを心掛けている。	意見を求める機会はあるが、一部の人からしか意見が上がらなかつたりと改善にまで繋がっていない。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		把握していない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		個々の支援計画をまだ把握できていない。 ブログなどでは発信している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		保護者様のアンケートをもとに、日々の児童の様子に合わせて計画の更新を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2		共通理解ができていない。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		計画が日ごろの日案に反映されていない。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	行動観察を実施している。	把握していない。 支援ツールなどを用意するが、変化がないためマンネリ化してしまっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		より一人一人に合った支援ができるようになる事を目指したい。 具体的に支援者との話し合いやすり合わせが必要だと思う。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		正職員で集まって立案する事はできているが、他の職員のアイデアも取り入れていきたい。 提案した物に対して児発管から返答がなく困る事がある。 各自で行う事があり、チームでの立案が難しい時もある。知識不足も影響している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		レベルを上げたり、ステップアップしたプログラムになるようにしている。	固定化してしまわないように立案しているが、スモールステップで物事を考える事が難しい。また、児童が飽きてしまった時の対応を考えたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		細かい役割は決めているが、現場でできていないことも多い。現場でどのように伝えていくかが大事。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		工夫をして説明をするが、返答がなかったり現場で困ってしまったりすることがある。 連絡事項が細かすぎてわかりずらさもある。また、早口にあり余計に理解が難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		送迎業務があるため、その日に反省は出来ていない。 療育の反省は翌日の打ち合わせの中で実施しているが、感想になってしまっている事もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3		現在の様子の他に、個別の学習能力など、記録していくリストを整備する必要がある。 日頃の業務時間で記録を書けていないことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	4		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4		4つの基本動作の共有が必要。 ガイドラインに沿った支援を考えていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			ととてタイムや清掃活動など、自分で選択できる活動がある。 やりたくない事をどのように受け入れるか。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		把握していない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		各学校から年間行事をいただき、コピーした方が長期休み前に困らないと思う。 確認不足から送迎時間が浅れてしまう事があるため、二重確認をするなど、再発防止を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		把握していない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6		現在まで学校を卒業する児童を出していない。 把握していない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	社内研修の中で外部研修の動画を視聴する機会があった。	機会が少ない。 把握していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		時々、戸外活動で会うくらいで交流する機会は少ない。 送迎などで交流する機会はあるが、交流は少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		研修参加をしている。 把握していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	3	送迎時や連絡ノートにて子どもの様子を伝えられている。	ご家庭での様子を知り、共通理解をしていきたい。 送迎時にその日の様子などを伝えきれていないと自分自身の反省がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	親子通所の実施内で行われている。	ご家族が参加できる研修の機会があれば、家族支援に繋がると思う。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		聞き取りなどを用いて行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		把握していない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	職員間で送迎時であったやりとりを共有し、面談や相談支援に繋がっている。	適切に応じることは出来ているが、助言やその後の支援については努力していかなければいけない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母会の実施は出来ていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		苦情対応を担当した事がないため、わからない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			発信しているが、ブログなどの内容が薄いため、改善が必要だと感じる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		提出物の入れ間違えが多くなってしまっている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		近隣の方や老人ホームの方を招待する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	2		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		おやつ時の対策をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		把握していない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		把握していない。